



にじいろ通信

Rainbow color communication

笑顔あふれるまちなか病院 地域に寄り添い 安心・安全な医療を提供します。



高千穂牧場と高千穂峰

CONTENTS

- P2 診療部長あいさつ
- P3 看護師紹介
- P4・P5 地域包括ケア病棟紹介
- P6 デイケアいきいき 25 周年
- P7 地域医療連携（国分外科胃腸科）
- P8 2025 年6 月 外来診療体制について



鹿児島医療生活協同組合
国分生協病院

診療部長 あいさつ

message



診療部長 中野 治

いつまでも暖かかった年末が過ぎると、史上最大級の寒波がやってきて桜島も高千穂も真っ白に雪化粧。外来には、インフルエンザと新型コロナ感染の波が通り過ぎ、そして、少し遅く、桜前線が天降川河岸をピンクに染めて、新たな季節の到来を告げています。

新しい風を病院に吹き込んでくれる新入職員が、今年も私たちの仲間に加わってくれました。新たな課題にも、若くて新しい力を得て、ともに学びを深めながら挑戦していきたいと考えています。一方、働く医師の確保は年々厳しくなっており、経験を重ねながらも、変わらぬ体制で救急から検査手技、病棟治療などの増え続ける課題に対応しなければなりません。地域の皆様のご期待すべてに答えていきたいですが、体制の拡充が難しい中では、持てる力を効果的に、できるだけ長く発揮できるよう、課題を整理し、身に余る課題については地域内の協力をいただきたいと考えています。肺炎などの感染症、心不全を初めとした救急疾患への対応、慢性疾患管理、循環器、腎疾患などの専門的な診断、治療、手術、在宅診療などなど、今後も地域から求められる医療内容は、大きくは変わらずに推移すると思われますが、これらに取り組むために、特に日中の時間帯に力を集中し、一人でも多くの患者さんを診て、対応できる体制を作っていきたいと考えています。もちろん、救急車への対応は、昼夜問わず、できる限り行っていきます。医師の働き方改革にも対応し、休息を確保しながら、質の高い診療活動を継続できる体制をつくっていきます。

「経済」優先、格差是認の政治が進められる中で、医療や社会保障の負担は国を危うくすると軽んじられ、医師はこれから余る時代だと言われます。しかし、私たちの実感としても、地方の中小病院では、医師をはじめ、働き手不足は明らかで、医療従事者の努力で、身に余る課題にあたっている状況が続いています。国際比較では、日本の人口当たりの医師数は、OECD諸国の平均に比べ、約13万人不足しているというデータもあります。問題の根本にある絶対的医師不足を改善していかなければ、現場の矛盾は解決していかないと思います。日々の診療を進め、現在の課題を解決しながら、次の世代の働き手を創り、医療を継続できるよう、命を軽んじる政治を変えていく活動にも取り組んでいきます。

地域の皆様と力を合わせて、安心・安全の医療と介護を提供できるよう頑張っ参ります。よろしくお願いいたします。



より良い 看護 を追求します。



4階病棟看護師長
大内 さとみ

この度、4階病棟の看護師長に就任いたしました。日々、現場で支えてくださるスタッフ、そして患者様やそのご家族の方々に深く感謝申し上げます。これまでの看護師としての経験を活かし、より質の高い看護サービスの提供と、患者様やそのご家族一人ひとりに寄り添った温かい看護を提供するとともに、スタッフが働きやすい環境作りにも尽力してまいります。チーム一丸となって、より良い医療を提供するために努めてまいりますので、皆様のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。



感染管理認定看護師
高峯 明貴代

2023年度に認定課程を修了し感染管理認定看護師として活動を始めました。2024年度は病棟業務と兼務しながら感染予防策の遵守状況の確認、耐性菌の監視、相談、指導、サーベイランス、感染に係るデータ管理、マニュアル改訂などを行ってきました。患者様が医療関連感染を起こさずに退院できるよう、適切なタイミングの手指衛生をはじめ標準予防策が浸透する職場を目指しています。2025年度から専従として活動します。まだまだ未熟ではありますが、地域の感染対策活動に寄与していきたいと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。

笑顔あふれる地域包括ケア病棟

地域包括ケア病棟とは

急性期治療が終了し、病状が安定した患者様に対して、在宅や介護施設への復帰支援に向けた医療・看護・リハビリ支援を行うことを目的とした病棟になります。患者様が退院後も安心して生活できるよう、多職種でのサポートを行っていきます。(35床)

● 主な受け入れ対象となる患者

- ・在宅復帰への環境調整が必要な方
 - ・在宅復帰に向けてのリハビリが必要な方
 - ・急性期治療が終わり、介護施設入所待ちの方
 - ・検査の為に短期入院の方
- ※一定の医療行為も対応しています

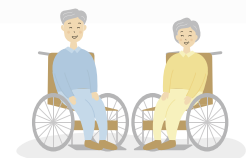
● 特徴的な入院対応

- ・ポリープ切除後の1泊入院
- ・眼科術後の1泊入院
- ・糖尿病教育入院
- ・PSG検査入院
- ・レスパイト入院

多職種からの挨拶



地域包括ケア病棟医長
小坂元 博揮



住み慣れた地域でいきいきと過ごしたいという患者さんの思いを精一杯サポートするために、多職種で連携して取り組んでいます。急性期治療から在宅・施設などへの「虹の架け橋」を目指して、日々工夫しながら頑張っています。地域の期待に応えられる病院として今後も取り組んで参りますので、引き続き当院との医療連携の程、よろしくお願いいたします。



地域包括ケア病棟看護師長
小山 さおり

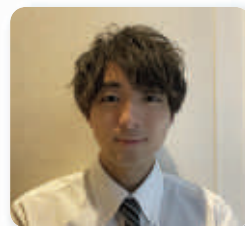
患者さん、家族の思いに寄り添い、誰もがその人らしく尊厳ある人生を送れるようにするために、入院・入棟時からカンファレンスや病棟回診を通して、多職種で情報共有し退院・在宅復帰支援に取り組んでいます。

地域の医療関係や介護施設等の関係強化を図り、地域完結型の医療活動を推進し、円滑な受け入れが行えるよう、ベッドコントロール室とも連携し安定した病棟運用を心掛けていきますので、よろしくお願いいたします。



地域包括ケア病棟
専従リハビリ担当
理学療法士
西 勝

地域包括ケア病棟は、急性期病棟から患者様を受け入れて、主として家庭へ復帰させて行く役割を担っています。60日間という期限の中で何がどこまでできるのかが問われる為、多職種との連携が重要です。私の好きな評語に北海道浦河べてるの家の「三度の飯よりミーティング」という言葉があります。より良い医療を目指すには密な情報交換、切れ目のない互いの協力が不可欠だと考えますので、今後も多職種連携に努めて参ります。



地域包括ケア病棟担当 MSW
松下 大樹

私たち医療ソーシャルワーカー(MSW)は、地域において自立した生活を送ることができるよう、福祉の視点から患者さんやご家族の抱える心理的・社会的問題の解決や援助を行い、社会復帰を促進する専門職です。在宅復帰や施設入所調整に対し、ケアマネジャーの方々や施設との窓口を私たちが担いますので、お気軽に地域連携室までお問い合わせください。



病棟のひとコマ



今日は楽しい夏祭り



桜島が望める絶景ポイント発見！



☆クリスマス会☆



みんなでお花見 心も温くなりました



上手にできた初午祭 いいことありますように！



笑顔と元気あふれる仲間 日々の取り組みを切磋琢磨し 安心安全な毎日

地域の医療機関・施設の方々へ

地域の医療機関・施設の方々からのご紹介に関しては「地域包括ケア病棟」も含めて検討を行います。状態に応じて調整しますが、入院期間は原則60日としております。ご不明な点に関しては、地域連携室までお問合せください。



通所リハビリテーション 「いきいき」

25周年祭を開催して

2024 年 9 月に通所リハビリテーション「いきいき」が開設して 25 周年を迎えることができ、日ごろの感謝と交流を目的に 11 月 17 日デイケアいきいき 25 周年祭を開催しました。

9 月より利用者様と花や野菜の苗作り、展示物の準備、看板の作成などを行い、職員よりバザーの提供品、組合員さんよりふくれ菓子の提供や当日の運営の協力もいただきました。当日は天候にも恵まれ、総数 150 名（職員 30 名・来場者 120 名）の方々に来場していただくことができ、健康チェックや相談コーナー、バザー、ゲーム、余興等を行い盛大に開催することができました。地域、組合員さんに支えられ運営できたことを改めて実感させられ、感謝の念に堪えません。

現在、看護師 7 名、介護福祉士 6 名、理学療法士 2 名、作業療法士 1 名、運転手 3 名で業務にあたっており、1 日平均 28 名の受け入れを行っています。

「自分の事は自分でしたい」「住み慣れた我が家で暮らしたい」その思いに私たちスタッフが寄り添い、ご家族、利用者様が住み慣れた自宅で末永く、その人らしい生活が送れるように支援を行っています。

今後とも新規利用者様のご紹介をよろしくお願いいたします。





地域医療連携 ～地域の先生方より～

国分外科胃腸科



岩谷眞宏 院長

1 当院の紹介

このたびは、国分生協病院の広報誌「にじいろ」通信への寄稿の依頼をいただきありがとうございます。当院は、昭和63年に外科、胃腸科の有床診療所としてスタートしました。当初は外来診察とともに開腹手術なども大学からの応援をもらい行っていました。現在は、手術は行わず、内科一般、特に消化器疾患（上部消化管、下部消化管、肝、胆、膵）、脂質異常症、高血圧症、糖尿病等の生活習慣病を中心に対応しています。また、循環器につきましては、週3日循環器の医師に来ていただき、心臓、血管系の受診者を見てもらっています。

2. 国分生協病院へのお礼と期待

国分生協病院には開業当初からいろいろな面で大変お世話になりました。特に急病の人や重症な患者の受け入れや相談にのっていただき、ドクターをはじめ職員の皆様方には改めてお礼を申し上げます。これからも市街地中心部にある救急も対応してもらえる病院として、また多種の診療科先生が勤務され、先進的な検査機器の整った病院として、開業医のご指導をしていただければありがたいです。また勉強会、症例検討会などでお互いが顔の見える関係が構築できればと願っています。今後の不確実な社会情勢、厳しい医療環境、また直面している人口減少社会での多くの課題につきましても、先駆的な情報発信、社会への提言や取り組みなどを大いに期待いたします。国分生協病院の皆様の病気の人に寄り添う医療の実践を見習いながら、私ども職員一同も頑張りたいと思っていますので、今後とも医療連携をよろしくお願いいたします。



外来診療体制についてのお知らせ

			月	火	水	木	金	土
午前	一般内科 (8:45~11:00)		吉 見	吉 見	長 谷	山 下	吉 見	救急対応 急患のみ (紹介受入可) ※ ご紹介の 方は、対応さ せて頂きます ので、ご連 絡下さい。
	専門 外来 (8:45~ 11:00)	循 環 器	中野(第2・4)	中野(第3) 川嶋(第2・4)	吉 見	吉 見	川 嶋	
		呼 吸 器	山 下		檜田祐一 (第1・2・4)		檜田祐一 (第1・2・4)	
		消化器・肝臓		小坂元 (第1・2・3)	小坂元(第4)			
		腎・膠原病	前 村			前 村 (第1・3・5)		
		神経内科				大 山		
		糖尿病内科			檜田久枝 (第1・2・4)	藤 崎	檜田久枝 (第1・2・4)	
	外 科 (9:30~12:00)				税 所		鎌 谷	
	小児科 (9:00~12:00)		玉 江	玉江(一般) 酒井(第1・4予約)	玉 江	森 田	交 替	玉江 (第3・予約)
午後	内 科	14:00~15:30	交 替	交 替		交 替	交 替	
		予約のみ 14:00~17:00		山 下		大 山 吉 藤	山 下 檜田久枝 (第1・2・4)	
	小児科	予約のみ 予防接種/健診 14:00~16:00	(14:00~16:00) 玉 江				交 替	
		予約のみ 14:00~17:30		(14:00~17:30) 酒 井 (第2・4)		(14:00~16:30) 森 田		

※学会出張等の都合により変更になる場合があります。詳しくはお電話にてご確認ください。

※平日の専門外来への紹介は予約制となっていますので、事前にお電話をお願いします。

※診療体制の一部縮小に伴い、2025年4月1日より15時30分以降は、救急車・紹介のみの対応とさせていただきます。

急患の方については、従来通り電話（0995-45-4806）にてご相談ください。



鹿児島医療生活協同組合
国分生協病院



〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央3丁目38-14
電話 (0995) 45-4806 FAX (0995) 45-4938
<http://kokubu-seikyo.jp>